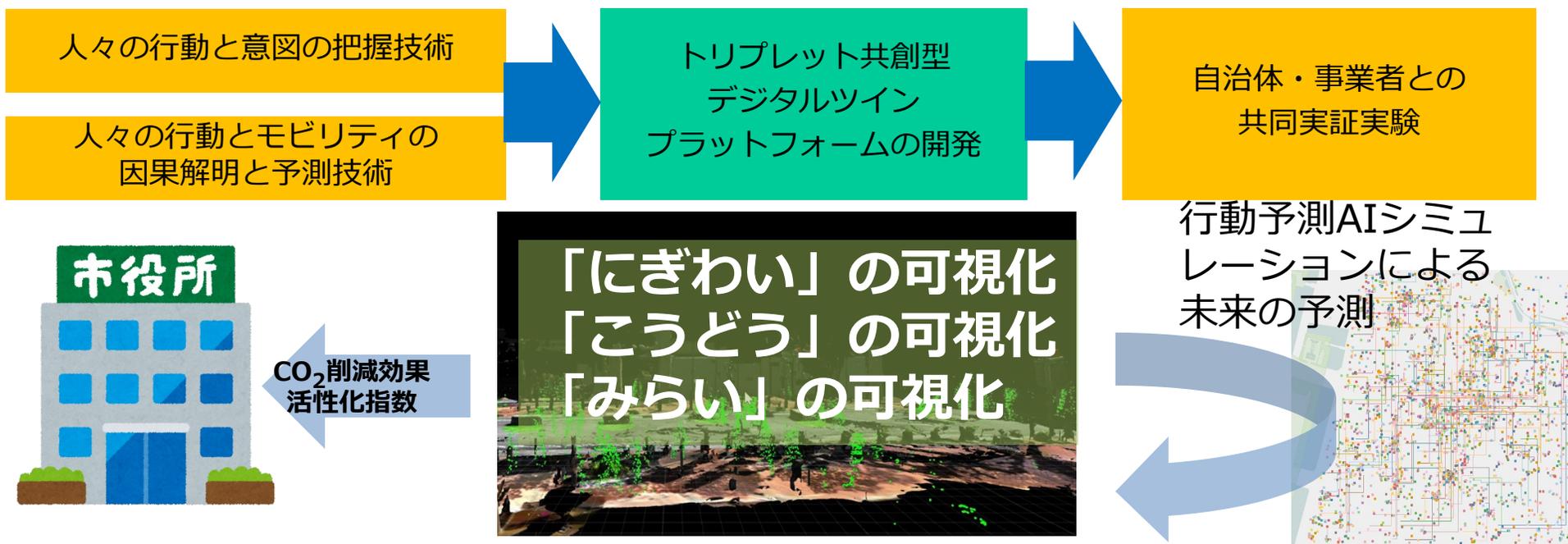


データ利活用等のデジタル化の推進による社会課題・地域課題解決のための実証型研究開発

街の未来を共視する ～住民・自治体・事業者のトリプレット共創型デジタルツイン～

研究概要：本研究では、新たな移動手段の導入により変革する街の未来を予測・可視化するプラットフォームと必要技術を開発する。スマートフォンなどを通じて人々の行動と意図を把握する技術と、人々の行動とモビリティの因果を解明・予測する技術を開発するとともに、これらの結果を3次元仮想空間に投影することで、街の未来を体感できるデジタルツインプラットフォームを実現する。ニューモビリティ導入の効果実証を実施し、地域の自治体・住民・事業者が魅力ある街づくりに向けてトリプレット共創する取組みに挑戦する。



【研究開発期間】 令和4年度から令和6年度まで

【受託者】 国立大学法人大阪大学（代表研究者）、株式会社HULIX